

公表

事業所における自己評価総括表 らっこ

○事業所名	放課後等デイサービスゆうゆう らっこ		
○保護者評価実施期間	2026年 1月 16日		～ 2026年 1月 30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	17	(回答者数) 10
○従業者評価実施期間	2026年 1月 16日		～ 2026年 1月 20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 2月 17日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	異年齢との関わりによる助け合いや、人との関わり方の広がりを持つ。	年齢に関わらず、手助けが必要な児に対しては、日頃から児童同士で助け合いが行われるよう指導したり、手助けの仕方の見本を見せたりしている。	児童自ら手助けの行動に移せるよう、日頃から各場面での関わり方を自然に繰り返す。
2	専門的支援以外に重点的に関わる児を決めて、各指導員が丁寧な関わりを意識している。	毎月の会議で各指導員が重複的に関わる児を決め、関わりを意識付けと振り返りを行っている。	毎月の会議だけでなく日々の振り返りで児の様子や関わり方の共有を行う。
3	特に支援が必要な児や、相性の悪い児などの情報共有を常に行っている。	特に支援を必要とする児や、関わりに気を付ける必要がある児に対しては、日々情報を共有し、関わりに一貫性を持たせている。	職員全員が、関わり方をしっかりと意識付けられるようお互いに声かけを行う。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	部屋が分かれているので、死角が生まれる。	事業所の作りが一般家庭と同じである。	児童の動きに合わせて各指導員が声をかけ合い見守り場所を移動する。
2	完全にシェルターとなる場所がない。	安全性を優先して扉などの間仕切りを最低限にしているため完全個室を作りにくい。	完全個室が作りにくいのでテントなどの代用を考えている。
3	指導員のシフトが固定できにくい状況にある。	指導員の休み方に変化が多く、情報共有しにくい。	申し送りなど、情報共有には口頭だけでなく、ノートを使った共有を行っているが、職員全員がノートを共有する意識を持って情報発信と確認を行う必要がある。

公表

事業所における自己評価結果 らっこ

事業所名	放課後等デイサービスゆうゆう らっこ		公表日		2026年 2月 17日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5	0	活動内容によって使用する部屋を変えている。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5	0	適切であるが、利用児の状況によっては増やしてほしい時がある。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	3	2	バリアフリーではないがケガにつながらないよう扉を外すなどの工夫を行っている。 絵や写真を使って分かりやすく示している。 目的によって部屋を変えている。	トイレが狭いのでもう少し広いと利用しやすい。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5	0		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5	0	ゆっくりできる場所や宿題等をする場所を分けることができる。 一人になりたいとき使用できる場所を設けたり落ち着いて宿題が出来るように場所を分けている。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	4	1		目標設定と振り返りは会議で行っている。重点児を決めたり、その後の振り返りを行っているが今後PDCAサイクルを作成してくと尚良いと思われるので、検討していく。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0	月1回の事業所会議で意見を聞いている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4	0		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5	0		
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5	0		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	5	0		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5	0		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5	0		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5	0		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5	0		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5	0		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5	0		

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	4	0		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5	0		
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	0	終了後は時間が足りないため、翌日の始業前に行っている。 支援前に行っている。 共有ノートを作って情報を共有している。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5	0		
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5	0		
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	3	0		
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	4	0	予定をいくつか提示し自分で決められるようにしている。またそれに合わせて職員の配置を決めている。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5	0		
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	0		
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	5	0		
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	4	0		
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	0	5		まだ該当児がいない。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	5	0		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	5	0	児童館のイベントに参加している。 親子交流会で児童の兄弟と一緒に活動する機会はある。	今後直接地域の児童とも関わる機会を検討していく。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	4	0	通所事業所連絡会を通して参加している。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5	0		
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	0	5		職員研修と一緒に開催機会を設けていきたい。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5	0		
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5	0		
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	5	0		
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5	0		

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	5	0		
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5	0		
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	5	0	お便り、インスタグラム、ライン等を活用している。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5	0		
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5	0		
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	0	5		
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5	0		ホームページに掲載して周知していく。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	4	0		
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	5	0		
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	0	5	現在医師の指示書に基づく対応はないが保護者からの対応の要望がある児童は対応している。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5	0		
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5	0		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5	0		
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5	0		
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5	0			